

ニュースクリップ & 映像教材

■「第2回全国子ども科学映像祭」表彰式及び上映会開催

■カメイ社会教育振興財団「平成16年度青少年の社会教育活動に対する助成」ならびに「平成16年度社会教育等生涯学習の振興に関する活動に対する助成」募集開始

■「プレゼンテーション技法研修会～作成から演示、そして児童・生徒の指導まで～」開催

■「教育・学習へのIT活用シンポジウム—平成15年度Eスクエア・アドバンス成果発表会—」開催

■「第45回科学技術映像祭」参加作品募集

■「第50回東京都小学校視聴覚教育研究大会—研究発表会—」開催

AV情報

■「第2回全国子ども科学映像祭」表彰式及び上映会開催

(財)日本科学映像協会、(独)科学技術振興機構、(財)ニューテクノロジー振興財団の主催による「第2回全国子ども科学映像祭」の参加作品の審査が終了し、文部科学大臣賞・小学生部門「おもしろいアリジゴク」藤森伯人(高知市立一ツ橋小学校2年)他13作品の入賞が決定した。表彰式および上映会は下記により開催される。

〈開催日時〉

平成16年1月10日(土)

10:00～17:00

〈開催場所〉

日本科学未来館みらいCANホール 7階第3会議室

東京都江東区青海2-41

〈内容〉

受賞作品上映会、その他、畑正

憲氏による講演会も予定されている。

〈問い合わせ先〉

(財)日本科学映像協会

〒105-0001東京都港区虎ノ門1-17-3 第12森ビル8階

TEL 03-3504-1625

URL:<http://kaeikyo.net/>

■カメイ社会教育振興財団「平成16年度青少年の社会教育活動に対する助成」ならびに「平成16年度社会教育等生涯学習の振興に関する活動に対する助成」募集開始

(財)カメイ社会教育振興財団では、社会教育団体、または青少年を対象とする団体が行う青少年の健全育成のための社会教育活動、またはこれを促進するための事業に対する助成を行う(100万円以内×8件の予定)。

また、団体等が行う芸術・文化および教育活動について、地域における社会教育活動、また

はこれを促進するための事業で、東北6県で地域に密着した活動を対象とし、助成を行う(50万×3件の予定)。

応募期間は、平成16年2月2日から4月16日(当日消印有効)まで。

〈問い合わせ先〉

(財)カメイ社会教育振興財団

〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-1-23 カメイ五橋ビル

TEL 022-264-6543

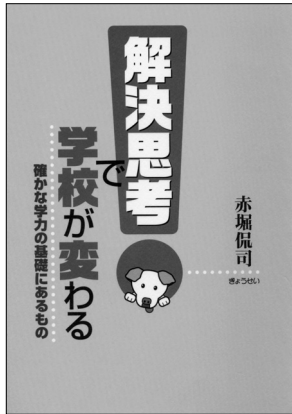
URL:<http://www.kamei.co.jp/museum/>

研究会情報

■「プレゼンテーション技法研修会～作成から演示、そして児童・生徒の指導まで～」開催

(財)松下視聴覚教育研究財団では、教材の提示用、子どもたちの学習成果の発表用、研究会・会議等での発表用、企画・提案用など、具体的な利用場面を意

ブックレビュー



「解決思考で学校が変わる
—確かな学力の基礎にあるもの—」

赤堀侃司著 ぎょうせい 2003年11
月刊 四六判 233頁 1,600円(税
別)

「なぜだろう」と発想するのが科学的思考なら、「どうしたらいいか」と発想するのは技術や工学などの思考だと言う。著者は教育工学の専門家である。書名にある「解決思考」が後者の発想に基づく思考方法であるというのも頷ける。こう書くと何やら堅苦しいイメージの書を連想されるかもしれないが、それは間違いであると気づくのにはさほど時間を要しない。

「アメリカの危機管理が日本に比べて手際がよいのはなぜか。有事の際、アメリカ人は何が原因かと詮索する前にどうしたらいいか考える。つまり解決思考がしっかり身に付いているからだ」

「自分が役立っているという感覚はすべての解決思考につながる。役立つという意識が、さら

にどうしたらいいかという思考を促すからである」

「どうしたらいいか」と考えると、自分が今何をすべきかが見えてくる。どうしたらいいかを常に思考することは、やる気とか前を向かせる姿勢に通じる」

このような主旨の話が次から次へと現れる。豊富な事例と平易な文章に加え、著者の温かい人柄が本書の面白さを一層引き立たせている。それにしても著者はよほどの掃除好きらしい。学校の掃除は日本の教育文化を支えているとまで言いきる。掃除と解決思考はどのような関係にあるのだろうか。それは本書を手にしてのお楽しみ。教育工学というよりも教育好学の書とも呼ぶべきか。主に小・中・高の教員向きである。

(多田元樹)

識した実習を通し、対象、場面、時間を踏まえて、正確なメッセージを送るための基本と秘訣を習得することを目的に、講義・実習・発表会からなる標記研修会を開催する。

〈開催日時〉

平成16年1月10日(土)

9:30~16:30

〈開催場所〉

十文字学園女子大学

埼玉県新座市菅沢2-1-28

〈対象〉

幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援教育、教育センター等の先生方でパワーポイントの操作の出来る方。

〈講師〉

影戸誠氏(日本福祉大学助教授) / 井口磯夫氏(十文字学園女子大学教授)他

〈定員〉

30名

〈参加費〉

2,000円(資料代、弁当代として)

〈参加申し込み〉

下記問い合わせ先URLより申込書を手入し、必要事項を記入のうえFAXにて申し込む。

〈問い合わせ先〉

(財)松下視聴覚教育研究財団
研修会事務局

〒105-0001東京都港区虎ノ門1-

14-1 郵政互助会虎ノ門ビル5F

TEL 03-5521-6100

FAX 03-5521-6200

URL:<http://www.mef.or.jp/>

■「教育・学習へのIT活用シンポジウム—平成15年度Eスクエア・アドバンス成果発表会—」開催

(財)コンピュータ教育開発センターでは「IT活用で子どもたちが変わった!教室が変わった!学校が変わった!」をテーマに標記発表会を開催する。

〈開催日〉

平成16年3月5日(金)~6日(土)

〈開催場所〉

東京ファッションタウンビル

東京都江東区有明3-1

〈内容〉

○基調講演

○分科会:「IT活用で子どもたちが変わった!」新しい学びの創造を目指す実践事例(6事例) / 「IT活用で授業が変わった!」授業改善への挑戦(6事例)他

〈参加申し込み〉

下記の問い合わせ先URLより申し込みを行う(参加費無料)。

〈問い合わせ先〉

(財)コンピュータ教育開発センター 〒105-0001東京都港区白金1-27-6 白金高輪ステーションビル3F

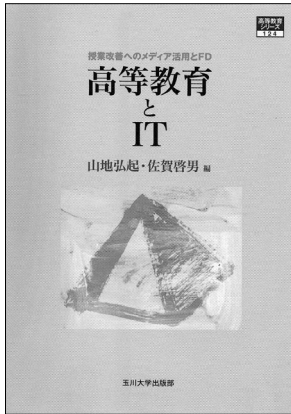
TEL 03-5423-5911

URL:<http://www.cec.or.jp/>

コンクール情報

■「第45回科学技術映像祭」
参加作品募集

ブックレビュー



「高等教育とIT—授業改善へのメディア活用とFD」

山地弘起・佐賀啓男編 玉川大学出版部
2003年10月刊 A5判 208頁
2,800円(税別)

今、日本の高等教育は国立大学の独立行政法人化や第三者評価など、必ずしも追い風とはいえない問題に直面している。その原因の一つを集約して説明することはできないが、教育機関としての大学は、その生命線ともいべき教育、特に授業について十分な改革に取り組んできたとはお世辞にもいえない。

そのような状況の中で、文部科学省の大学共同利用機関であるメディア教育開発センターは、メディアFDの研究に意欲的に取り組んできた。その成果がここにまとめられた。

FD(ファカルティ・ディベロップメント)という用語は一般の人々にはあまりなじみがないと思うが、その取り組みは高等教育のみに有効なものではなく、小中高校の授業改善にも示唆す

る内容を含んでいる。メディア・ITの高度な活用により授業改善を行う意味から具体的な取り組みまで紹介している本書は、授業を担当する者から教育を学ぶ学生にも参考になると思われる。

特に、本書が指摘している「一方的な知識伝達型授業から『学習者中心』の活動を多く取り入れた授業へ転換させる」ことは、メディア活用に積極的な教員の多くが目標にしていることであるが、それを第二部で具体的に示している。

さらに、終章では、「学生による授業評価」についても触れている。さまざまな議論のあることではあるが、避けて通れない問題である。本書は、メディアを活用したFDに関する入門書の名著といえる。(坂井知志)

(財)日本科学技術振興財団、(財)日本科学映像協会、(社)映像文化製作者連盟、(財)つくば科学万博記念財団の主催による標記映像祭において、優れた科学技術に関する映像を選奨し、科学技術への関心を喚起し、その普及と向上を図ることを目的に、参加作品を募集する。

分野は「科学教育」「基礎研究」「科学技術」「医学」「ポピュラーサイエンス」の5部門。

平成15年2月1日～平成16年1月31日までに完成または放映したものであること。

応募締め切りは平成16年1月31日(土)まで。

3月中旬に最優秀作品賞1作品(内閣総理大臣賞申請中)、文部科学大臣賞14作品以内を発表する。

参加要綱等の詳細は下記まで問い合わせのこと。

〈問い合わせ先〉

(社)映像文化製作者連盟

TEL 03-3501-0236

URL: <http://ppd.jsf.or.jp/shinko/pr/o/s-m/index.htm>

各地の情報

■「第50回東京都小学校視聴覚教育研究大会—研究発表会—」開催

東京都小学校視聴覚教育研究会(都小視研)主催による標記大会が、「情報化社会を主体的に生きる力を育てるために、視聴覚教育の果たす役割を追究し、その実践をひろげよう」を大会主題として開催される。

〈開催日時〉

平成16年1月30日(金)

13:45～16:30

〈開催会場〉

東京都品川区立大間窪小学校

東京都品川区二葉1-1-2

TEL 03-3781-3920

〈内容〉

1. 公開授業: 1年～6年

2. 全体会

○研究発表: 都小視研の1年間の研究内容を報告する。

○講演: 「確かな学力をめざす情報教育—メディアの活用の仕方—」/赤堀侃司氏(東京工業大学教授)

〈問い合わせ先〉

東京都葛飾区立水元小学校

校長 古川和彦氏

TEL 03-3607-0201

URL <http://teav.cside.com/>

短 信

■文部科学省及び文化庁は庁舎建て替えのため、平成16年1月5日より平成19年12月までの予定で仮庁舎に移転する

〈移転先〉

〒100-8959 東京都千代田区

丸の内2-5-1

TEL 03-5253-4111(代)